

栗國淳によるレクチャー～オペラにおける身体表現～



講師／栗國淳(アルテ・シェニカ)

東京生まれローマ育ち。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院でヴァイオリンと指揮法を学ぶ。オペラの演技・演出法を M. ゴヴォーニに師事。新国立劇場では F. ゼッフィレッリ、L. ロンコーニなど巨匠達の演出助手を務めた。98 年から文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊、H. プロックハウスのもとで研鑽を積んだ後、P. ファッジョーニ、A. ファッシーニなどの片腕としてヨーロッパを拠点に活躍。97 年藤原歌 劇団公演「愛の妙薬」で演出家デビュー。びわ湖ホール、二期会、神奈川県民ホール共同制作「トゥーランドット」「アイダ」「オテロ」、東京二期会「仮面舞踏会」、あいちトリエンナーレ「ホフマン物語」、藤原歌劇団「ファルスタッフ」「ノルマ」、日生劇場オペラ「アイナダマール」(日本初演)「セビリアの理髪師」、紀尾井ホールバロックオペラ「オリンピアデ」など多数の作品を手がける。海外ではサッサリ・ヴェルディ劇場「アンドレア・シェニエ」「エルナーニ」、スロベニア国立マリボール歌劇場「ホフマン物語」を演出している。11 年度エクソンモービル音楽奨励賞を受賞。新国立劇場では「ラ・ボエーム」「セビリアの理髪師」「おさん」「フィレンツェの悲劇/ジャンニ・スキッキ」「チェネレントラ」、小劇場オペラ「外套」を演出。現在、日生劇場芸術参与、新国立劇場オペラ研修所プログラムアドバイザー兼アルテ・シェニカ講師。

地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaru を舞台としたオペラ作品を創造・発信する hitaru オペラプロジェクト。令和 7 年度は 2025 年 11 月 9 日(日)・10 日(月)に、若手歌手を対象とし、第 2 回 hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」公演にて演出を務めた栗國淳氏および振付を務めた雨森景子氏・高橋宏尚氏を講師に迎え、オペラの身体表現について深めるワークショップ研修を実施します。

その内、栗國淳氏によるレクチャーを特別に一般公開！奥深いオペラの身体表現の世界に触れてみませんか？

[日 時] 2025 年 11 月 9 日(日) 13:00 開場、13:30 開始 (14:30 終了予定)

[会 場] クリエイティブスタジオ(札幌市民交流プラザ 3 階)

[聴講料] 全席自由 500 円(税込) *定員 30 名。申込多数の場合は抽選。未就学児入場不可。

応募受付期間:2025 年 9 月 25 日(木)10:00～10 月 19 日(日)23:59 まで

下記申込フォームよりご応募ください。

*レクチャーはどなたでもご参加いただけます。ただし、歌手を対象としたレクチャーの聴講となりますので、オペラの専門的な内容を予定しております。

*聴講料は当日入場時に現金にてお支払いください。

*申込多数の場合は抽選となります。聴講可否は、2025 年 10 月 27 日(月)までにメールにてご連絡いたします。hitaru-operaproject@sapporo-community-plaza.jpからのメールを受信できるよう設定ください。また、2025 年 10 月 28 日(火)になりましてもメールが届かない場合は、下記問合せ先までご連絡ください。

▼申込フォームはこちら

<https://forms.gle/uw8WsdLp2P6nTXhr8>

*右記 QR コードからもご回答いただけます



[お問合せ] 札幌市民交流プラザ 劇場事業課 hitaru オペラプロジェクト担当

TEL/011-271-1950(9:00～17:00 休館日を除く)

E-mail/hitaru-operaproject@sapporo-community-plaza.jp

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

協力：一般社団法人 北海道二期会、NPO 法人 札幌室内歌劇場、LC アルモーニカ、

札幌オペラシンガーズ、札幌大谷大学、北海道教育大学

後援：札幌市、札幌市教育委員会

助成／



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業))
独立行政法人日本芸術文化振興会